

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第4回市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会
開 催 日 時	平成 28年3月16日(水) 午前9時30分 開会・午前11時45分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 502会議室
議 長	佐々木陽一 委員長
出席委員(者)氏名	市有特定建築物耐震化推進計画検討委員会 委員 木下登 佐々木陽一 佐藤将之 鈴木充士 山岡靖義
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 議 題 (1) 前回会議の振り返り (2) 市有特定建築物耐震化推進計画(案)について (3) 耐震化に向けた今後の進め方について 3 事務連絡 4 閉 会 公 開
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 市庁舎の整備コンセプト・基本方針(案) 2 市民会館に係る検討資料 3 第2回会議における各委員からの主な意見
事務局職員職氏名	副市長 友山宏一 企画部長 田中利之 企画部参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1 開会 (9:30)

2 議事

(1) 前回会議の振り返り 資料1

事務局から、第3回会議で意見交換した「市役所のコンセプト」と「市民会館・中央公民館のあり方」について説明し、振り返りを行った。

(2) 市民会館に求められる機能について

市有特定建築物耐震化推進計画を構成する重要な部分3点について、意見交換を行った。

①市役所の「施設コンセプト・基本方針(案)」の確認 資料2

②市民会館の整備方向 資料3

③整備パターンとコンセプトの実現可能性 資料4

(3) 耐震化に向けた今後の進め方について 資料5

市有特定建築物耐震化推進計画の策定に向けて、市民との合意形成の方法について意見交換を行った。

3 委員長あいさつ

4 市長あいさつ(代行:副市長)

5 閉会 (11:45)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1) 前回会議の振り返り</p> <p>これまでの会議では、市役所は施設コンセプトについて、市民会館・中央公民館はサービスと機能についての議論を進めてきた。</p> <p>一方、市役所と市民会館・中央公民館の関係性については、両者を複合化することについての意見も出してもらっている。</p> <p>これからの市役所のあり方というものは、複合化の如何に関わらず、これまでの姿とは大分変わってきている。そのため、将来を見据えて目指す姿を見直していく必要があるということであった。</p> <p>特に市民の利用頻度が高い市役所については、市民の目線から優しさや思いやりが必要という意見もあった。</p> <p>これまでの会議を振り返り、付け加えることや意見があれば、出していきたい。</p>
委員	<p>公共施設である市役所、市民会館・中央公民館の今後のあり方を検討する上では、機能性の面で優れていることが大事である。</p> <p>また、限られた財政の中で設計し運営するためには、施設が何のためにあるのかという目的を明確にしておく必要がある。</p> <p>万能性を求めることや、多くの機能を付けようとする、検討に時間がかかる上、整備費用も高額になりがちである。さらに、万能性や多機能性を求め過ぎると、最も重要な要素である機能や性能が充分発揮できないことも考えられる。</p> <p>市役所は、行政機能が発揮できることが最も重要な点である。市民目線も大切であるが、公務の遂行に重点を置いて良いと思う。</p> <p>一方、市民会館・中央公民館は、施設でどんな文化活動をしたいのか、</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>求められる機能は何かなど、市民から意見を聞くことが大事である。</p> <p>耐震化については、本来必要な機能が充分発揮できるのであれば、単独でも複合化でも良いと思う。</p> <p>市民にコンセプトを示して、意見を聞くことは良いと思う。ただし、余り市民意見に振り回されず、市として終始筋を通すことも必要である。</p> <p>資料4の整備パターン2（2案）は、市役所を減築するものであるが、減築した床面積分については、近隣にある商業ビルの一角を借用することで対応できないか。例えば、人間都市開発が所有する「アイポット」で児童福祉のサービスを提供するというのはどうか。</p> <p>このように、市役所周辺で民間施設を活用するという方法も良いと思う。本委員会で、こうした意見が出たことも記録しておいていただきたい。</p>
議長	<p>減築分については、民間施設の活用も視野に入れるという意見であったが、機能が分散する場合、サービスの低下がないように留意することも大事である。</p>
委員	<p>減築は、床面積が減ることによりサービスが低下するのではないかという意見もあるが、全国的には減築を検討している事例は結構ある。</p> <p>また、ある自治体の調査によると庁舎の床面積の内、有効に活用されているのは47%という結果も出ている。</p> <p>このことから、減築したからといって、必ずしもサービス低下は生じないと言えるのではないか。</p> <p>従って、耐震化を検討する際には、ハードウェアのことだけでなく、まずはソフトウェアであるサービス提供のあり方を良く考えることが重要である。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>これまで、本委員会を通じある程度施設整備の方向性が見えてきたところであるが、今後、市民に本委員会での検討結果を説明し意見を求める上では、話が堂々巡りにならないようにしなければならない。そのためには、構想段階、計画段階、設計段階のようにステップを設定して、議論を後戻りさせない工夫が必要である。</p>
議長	<p>公共施設を見直す要因の一つに自治体の財政難という問題がある。このことを踏まえると、事業費が最も低廉な計画が選ばれることになりがちだが、行政サービスには金銭で買えないものが含まれており、単純なものではない。言い換えれば、費用対効果の「効果」の部分をもどのように考え、伝えていくのかという点が行政には求められている。</p> <p>今後市民に説明していく上では、行政機能をしっかり押さえていること、付加価値を付けた意義（あり方）を充分説明していく必要があると言えよう。</p>
議長	<p>(2) 市有特定建築物耐震化推進計画（案）について</p> <p>それでは、市有特定建築物耐震化推進計画（案）について意見交換をしたい。最初に、論点1の市役所の「施設コンセプト・基本方針（案）」について、ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>現在、市庁舎の低層階にある福祉関係部署は、庁舎内に入ってすぐにわかる場所にしておく必要がある。</p> <p>特に子連れも多いので、オムツを変える場所や保護者が庁舎内で用事を済ませる間、子どもが安全に居られる場所の確保も必要である。</p> <p>これは、優しさや市役所へ行ってみたいという要素にも通じるものである。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>低層階にある福祉関係の部署は、利用者の使いやすさという面で特段の配慮が必要であるという意見であったが、バリアフリーやユニバーサルデザインのことは、基本方針3に含まれているが、より明確にする上で、新たな項目立てをした方が良いということから、事務局で検討を要す。</p>
委員	<p>コンセプトの「市民と行政のエネルギーを1つに」という表現にもあるとおり、基本方針でも市民と行政がまとまっていくということが分かるように書いた方が良い。特に、基本方針1と3では、多様性を受け入れることにより、（市民が）まとまっていくということが分かる書き方が良い。</p> <p>基本方針3には、ユニバーサルデザインという伝統的な要素は入っているが、最近、教育の分野で用いられている「インクルーシブデザイン」（身体的なものに限らず経済的や感情的、デジタルなどあらゆる領域でこれまでの製品・サービスから排除されていた人々を、企画・開発の初期段階から巻き込んで、一緒に考えていくデザインの方法）という表現にしても良いと思う。</p> <p>この表現を使うことで、市役所に機能集約することに対して、説得力をもつことにつながる。</p>
委員	<p>基本方針を見ていると、市民に対し温かい目配りがされていると感じる。これは非常にありがたいことである。</p> <p>一方、市民の多くは、学校を卒業してから退職までの間、市政に関わっている時間がない。</p> <p>従って、今後の施設整備に向けては、サービスの対象者を明確にし、サービスの質や量が過剰にならないよう充分配慮する必要がある。</p>
委員	<p>いわゆる埼玉都民が退職後生活拠点である入間市に戻ってきて、どのように関わってもらうのかという具体的な検討はこれまでなされていない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>委員意見のとおり、会社勤めをしていると市政に関わる機会は少ない。しかし、市民が市役所を訪れた際、優しさが感じられることは大切である。これは、施設整備だけでなく、職員の意識改革も必要である。</p> <p>今後市民意見を聞く際は、行政として何でも聞き入れるのではなく、実現可能なプランの中から市民に選択してもらうという手法で進めていった方が良い。</p> <p>パブリックコメントを実施して、市民から賛同を得る上で、「優しさ」を出すことは良いと思う。また、総合的に見ても、事務局案は良いと思う。建設コスト（予算面）を前面に出したのでは、市民の理解は得られないと思う。</p>
委員	<p>市役所の主たる利用者は、高齢者、子育て世代、地元の商工業者が考えられるが、市役所での情報発信を通じて、市民や商工業者が頑張っていることや交流のきっかけづくりができると良いと思う。</p>
議長	<p>次に、論点2の市民会館の整備方向について意見交換を行いたい。ここでは、まず市民会館の機能について確認していきたい。市民会館にある機能は、大きく3つあるが、全て必要かということについて意見をいただきたい。</p>
委員	<p>会議室機能については、周辺施設の活用により代替は可能であると思う。</p> <p>一方、コミュニティの場としての大規模集会機能については、産業文化センターのホールでは、市民会館ホールで実施していた全てのイベントには対応できない。従って、市役所に設置する集会施設がこの機能をカバーしていくことになるのではないか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>再確認であるが、現在市民会館・中央公民館がある土地に建替えはできないのか。</p>
事務局	<p>現在の土地は住居系の建物であれば可能であるが、同じ内容の建物は法令により建替えできない。</p>
委員	<p>音楽ホール（劇場）については、以前、ホール外にあるホワイエを催事に利用しているという話があった。これを考慮すると、機能として催事機能というのを4つ目に加えても良いのではないか。</p>
委員	<p>今後ワークショップを実施するようであるが、「会議室機能」については、「周辺施設とのバランスを考慮して今後の整備を検討する。」とある。この視点は重要であるが、市民ニーズも大切な視点なので、市民からの声というのは大切にすべきではないか。従って、「ニーズや実際の使用状況に応じて検討していく。」とした方が良いと思う。</p> <p>ワークショップは流行っているから実施するというのは危険な考え方である。</p> <p>ワークショップでは、市民の意見を広く聞くことも大切であり、参加者と全国の先進事例を見て考えることも重要である。</p> <p>これから市民と行政が一つになるというコンセプトなので、文化や活動を共有していくこと、即ち「ニーズや実際の使用状況に応じて検討していく。」を是非明確にして今後のワークショップにつなげていただきたい。</p> <p>ここで重要なのは、全体を見据え、設計者を選ぶ際の評価軸に市民の声があるということを明確にすることである。こうすることで、設計者に市の意向が伝わるであろう。</p>
議長	<p>まとめると、機能については、事務局案に「催事機能」を加え、4機能</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>どすると良いということ、催事機能については、多目的に使えるものが良いという整理になる。</p> <p>次に、音楽ホール（劇場）機能のあり方について、ご意見をいただきたい。</p> <p>各施設の効率化を図るということで、近隣自治体と連携することは良いと思う。この考え方で整理すると、市役所以外持たなくて済むことも考えられる。</p> <p>しかし、このように全てが借り物であった場合、市民の立場では、地域への誇りがもてるかということになる。</p> <p>自治体としては、大規模な公会堂、図書館、体育館の3つは不可欠な施設ではないか。この施設がないと、市民が誇りをもって文化活動を頑張ることができないと思う。</p> <p>特に、近隣と連携すると、人気のある施設は予約が困難となり、市民活動が制限される可能性が高い。従って、少なくとも前述の3施設については、稼働率に捉われずに残しておくべきではないか。</p>
委員	<p>音楽ホール（劇場）機能については、前回会議で狭山市との共同設置について触れたが、経費削減という視点だけでなく、両市民にとって使いやすい施設とすることが重要である。</p>
議長	<p>自治体同士の連携は難しい部分もあるが、これからの施設整備には重要な視点である。</p> <p>一例であるが、国分寺市と小金井市は協定を結んで、文化施設や体育館などの相互利用ができるようになっている。</p> <p>委員意見にもあった通り、連携を検討のテーブルに載せることが重要である。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>委員意見を整理すると、一自治体として市民ホールは当然備えておく施設という意見がある一方、音楽ホール（劇場）の稼働率が低い実態については、無視することはできない。</p> <p>また、市民会館・中央公民館の音楽ホールがなくなってしまった場合、産業文化センターにある400人収容のホールでは、収容能力不足という意見もあった。</p> <p>さらに、市民の使い勝手を考慮すると、200人収容規模の集会施設を設置すると効果的という意見もあった。</p> <p>このことから、今後市民に整備方法を選択してもらう際は、論点として、①200人収容規模の集会施設と、②400～1千人収容規模のホールについて、市として必要なのか、ホールの仕様は集会施設なのか、音楽ホールなのかということを確認しておく必要がある。</p> <p>その上で、市役所との複合化を含めた選択肢を提示して選んでもらうようにすると良い。</p> <p>次に、市民会館・中央公民館の論点として重要なのは、主たる利用者として高齢者、子育て世代、地元の商工業者が考えられるが、市民会館・中央公民館の機能を市役所に統合が可能か、または、機能統合すべきなのかということについて、コンセプトと合わせてご意見をいただきたい。</p> <p>率直に言って、200人収容規模の集会機能が市役所にあった場合、利便性が向上し、稼働率も上がり、個人や団体がまちづくりに関わっていることを情報発信することで、市民や団体の気づきの機会につながるのではないかと感じるが、こうした意見もいただきたい。</p> <p>また、複合化（機能統合）の可否についても意見をいただきたい。</p>
委員	<p>機能統合、近隣自治体との広域連携は、今後避けて通れない課題だと認識している。この考え方は、非常に合理的であり、皆が同じ方向性を抱い</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>ていれば上手くいくと思う。</p> <p>一方、近隣市との連携の場合、設置後自治体間の関係がギクシャクすると成り立たなくなることもあるので、充分留意する必要がある。</p> <p>また、市民に計画を示す上では、広域連携についても検討していることも明記しておいた方が良い。</p> <p>資料4の模式図にある市役所内に市民会館・中央公民館の大規模集会機能、会議室機能を持ってくるという考え方については、委員会として了承したい。</p>
議長	<p>次に、論点3「整備パターンとコンセプトの実現可能性」について意見をいただきたい</p> <p>具体的には、各案の評価と評価の妥当性について意見をいただきたい。</p> <p>先ほど減築の考え方については、不足分を民間施設の活用で対応することも可能という意見があったが、こうした内容を含めて意見をいただきたい。</p> <p>本日の議論の中で、「誰でも分かりやすい施設」という内容を基本方針に加えた方が良いという意見もあった。また、機能としては、「市民がまとまることができる施設」という意見もあったことから、こうした視点も加えて評価の妥当性について伺いたい。</p> <p>なお、意見をいただく前に、事務局としての評価した基準や根拠があればお示しいただきたい。</p>
事務局	<p>整備パターンについては、以前から4つのパターンを想定していた。これらは、現時点で実現可能なものと考えている。</p> <p>また、評価については、市役所の施設コンセプトの中で示した基本方針の項目ごとに、既存施設を活用した場合と新設した場合、どちらの優位性</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>が高いかという視点で行ったものである。</p> <p>そして、最後にこの評価に対する理由（考察）を記述した。</p> <p>事務局案として整備パターン4（4案）が最も評価が高いということであるが、この評価に対する理由が妥当かという視点でご意見をいただきました。</p>
委員	<p>評価については、市としてこれが良いという意思表示が弱いと思う。これは、市民に多分に配慮した結果であろう。</p> <p>しかし、ここでは、行政の機能を最大限に発揮できるのは、この案だと示しても良いと思う。</p>
議長	<p>委員意見のとおり、市役所の職員が使いやすいということは、市民サービスの向上にもつながるので、このことを理由に付け加えてみてはどうか。</p>
委員	<p>耐震化に向けては、後世に良くやったと褒められる決断をして欲しい。多少費用がかかっても良いモノを作ることが大事である。</p>
議長	<p>委員意見のとおり、建設費用（初期投資）を多くかけてもランニングコストを減らせば良いという考えもあるので、考え方の一つとしては良いと思う。</p>
議長	<p>評価理由に掲げているのは、①間取りの視点、②法令上の視点、③ランニングコストの視点、④複合化のしやすさという視点の4つで構成されている。そして、これらを勘案すると4案が良いという結果になっている。</p> <p>事務局案のとおり、4つの視点で充分か。また、内容は適切かというこ</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>とについてご意見をいただきたい。</p> <p>ここに掲げた4案は、実現可能性を踏まえて事務局が考案したものであるが、例えば、行政の中核である市役所は現在の位置としても、市民会館や体育館などの施設は大妻女子大学（跡地）に立地することはできないものか。</p>
事務局	<p>大妻女子大学については、現時点で学生はいない。また、大学側からは跡地を活用して欲しいという要望もあると聞いている。しかし、建物の用途としては学校（大学）なので、目的は限られるようである。</p>
委員	<p>現在、武蔵野音楽大学の状況はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>武蔵野音楽大学については、現在、東京の本校舎の耐震化を進めていると聞いている。耐震化が完了した際は、順次学生は本校舎へ移すこととなっている。ただし、施設自体は残す予定で、幼稚園は今後も継続するようである。</p>
委員	<p>大学も少子化で学生が減っている。大学と行政（地域）が連携することは良いと思うし、両者がウィンウィンな関係になることが大切である。</p> <p>大学では、利用者が見込めないと学生食堂や銀行のATMも設置してもらえなくなる。学生以外に市民等の利用が入ってくれば、こうした施設の維持が可能になり、大学自体の好循環につながることを期待される。</p>
委員	<p>どこの場所であっても、しっかりした施設があり公共交通などにより行き来ができれば、人の循環が図られ市の活性化につながると思う。従って、施設を拠点化するという考え方は良いと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>委員意見にもあったように、これからの施設整備（耐震化）に向けては、まちづくりの視点と公共施設マネジメントの視点が重要であるということである。</p>
委員	<p>市内に1つでも広域連携して成功している事例があれば、それをモデルにして次の広域連携につなげることができると思うので、是非チャレンジしてもらいたい。</p> <p>また、民間（大学）との連携や近隣自治体との連携については、日ごろから両者で話し合いをしていれば課題を共有でき、実現の可能性も高まると思う。</p>
議長	<p>委員意見にあったように、大学に学生がいるうちに、地域とシェアできるものはないかということの日頃から話し合っておくことはとても重要であると思う。</p> <p>以上で、（2）市有特定建築物耐震化推進計画（案）に関する意見交換は終了する。</p>
議長	<p>（3）耐震化に向けた今後の進め方について</p> <p>最後に、耐震化に向けた今後の進め方について、意見をいただきたい。特に確認していただきたい点が、市民との合意形成の部分であるがどうか。</p>
委員	<p>パブリックコメントを実施することは良いと思うが、市民の意見だけに振り回されることのないよう実施して欲しい。</p> <p>また、ワークショップも良い取組だと思う。市は、市民との合意形成に対し大分配慮しているようであるが、市民は行政を信頼しているので、行政の判断で進めてもらっても構わないと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
委員	ワークショップの最終到達をどのように考えているのか。
事務局	ワークショップについては、市有特定建築物耐震化推進計画（素案）を提示した上で意見交換を行い、素案に修正を加えた上で成案（最終案）としてまとめていきたい。最終案は今回配布した資料の記述レベルを想定している。
委員	ワークショップのメンバーはどのように集めるのか。
事務局	市が無作為に抽出して郵送等で呼びかけた上、協力してもらえる方から返事をもらう方法を考えている。
委員	耐震化の検討については、この筋の専門家に意見を聞くのが良いのではないか。一般市民を中心としたワークショップで意見を聞くという方法は、考え直した方が良いのではないか。
委員	委員意見にもあったが、行政が、本委員会を設置して第三者から意見を聞いていることを踏まえると、市民意見を聞くのはこれで充分ではないか。
委員	無作為抽出では、参加者の世代に偏りが生じることが予想される。各世代に枠（人数制限）を設けて実施した方が良いのではないか。
事務局	委員意見を踏まえ、抽出方法は再検討したい。
委員	ワークショップの名称であるが、検討事項が施設の耐震化に留まる内容でないので、「まちづくり」を前面に打ち出した方が良いと思う。

発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>市役所にホールを併設したからといって賑わいの場になるか疑問を感じる。賑わうためには魅力が必要であるが、魅力をつくることは大変難しいことである。</p> <p>市役所は、職員の仕事がしやすいということに特化して整備しても良いのではないか。</p>
委員	<p>施設整備を行う上では、できるだけ早い段階で設計者を入れて内容を煮詰めていった方が良いものができると思う。</p> <p>また、こうすることで、市民意見や市の意向などを取り入れて、人間にフィットした建築プランを打ち出せる。</p> <p>思いをカタチにするためには、早めに設計者を決めて考えを伝えた方が良い。</p>
委員	<p>ワークショップにおいては、各世代を万遍なく集めて、各世代の意見を大事にして欲しい。</p>
委員	<p>1事例であるが、行政が地元の高校へ依頼をして高校生数名に参加してもらっている事例もある。ワークショップには、こうした仕掛けも重要である。</p>
議長	<p>今後の進め方については、様々な意見があったが、これらの意見を参考にさせていただき、計画づくりに役立てていただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成28年4月11日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>佐々木陽一</u></p>	

